

元禄文化 (2)

特色 (再) ① 上方の町人 中心 ←町人の台頭 ② 外国文化の影響少ない ←鎖国

③ 現実主義的 <例> 文芸—現世を「2浮き世」として肯定 ※もと(中世)は「憂き世」  
儒学—政治との結び付き 古典研究・自然科学—合理的

<町人文芸> ☆出版の発展が背景に <例>八文字屋(京都)

俳諧 「3俳諧連歌」から発展 ☆和歌や連歌では使わない俗語や漢語も使う ※江戸初期の貞門派から

4. \_\_\_\_\_ 派…5西山宗因 より自由・奇抜な趣向 <例>6矢数俳諧

7蕉風(正風)俳諧…さび・しおり・細み 繊細な感覚と言外の余韻を重視 8発句(第1句)の独立

☆9 \_\_\_\_\_ : 伊賀の武士出身 新興商人・豪農とのつながり

『10野ざらし紀行』(紀行:名古屋など) 『11奥の細道』(東北・北陸)

『12笈の小文』(関西) 『13猿蓑』(句集) ※弟子に 14向井去来、森川許六、宝井其角ら

小説 15浮世草子…「浮き世」の世相・風俗 (<例>16遊里) 現実・人間本能を直視

☆17 \_\_\_\_\_ …大坂の商人出身 18談林派の俳人

{ 19 \_\_\_\_\_ 物 『20好色一代男』(浮世草子の創始), 『21好色一代女』, 『22好色五人女』

{ 23町人物 『24日本永代蔵』(成功話), 『25世間胸算用』(大晦日の悲喜劇)

{ 26武家物 『27武道伝来記』(敵討), 『28武家義理物語』 その他多数

演劇 29人形浄瑠璃…物語・三味線・操り人形の三者一体

{ (脚本) ☆ 30 \_\_\_\_\_ …京都の武士出身(牢人) 封建制下の義理と人情の葛藤

{ 31 \_\_\_\_\_ 物 『32曾根崎心中』 『33心中天網島』 『34冥途の飛脚』

{ 35時代物 『36国性爺合戦』(明の遺臣の子 鄭成功=和藤内わとうないの活躍)

{ (語り) 37 \_\_\_\_\_ …大坂出身 38義太夫節を創始 39竹本座の創設

{ (人形操り) 40辰松八郎兵衛

41歌舞伎 ※江戸初期…42 \_\_\_\_\_ 歌舞伎(遊女)→43 \_\_\_\_\_ 歌舞伎(美少年)…ともに禁止(売春)

→44 \_\_\_\_\_ 歌舞伎…成人男性が演じる 内容・演技を重視

役者 (江戸)45市川団十郎…荒事(武人など勇猛さを強調)

(上方)46坂田藤十郎…和事(色男の優美さ) 47芳沢あやめ…女形

【正誤問題に挑戦】<センター1990本試験、1993追試験より>

- X. 美少年が女役を演じる若衆歌舞伎が禁止されると、これに代わって女歌舞伎が盛んになった。
- Y. 旅芸人は各地を巡業して、人形浄瑠璃や芝居を興行したが、元禄文化を代表する浄瑠璃脚本家の井原西鶴は、竹本義太夫と結び多くの作品を残した。

## <歴史と古典>

歴史

『<sup>48</sup>大日本史』…<sup>49</sup>徳川光圀の命→江戸<sup>50</sup>彰考館で編纂開始 →1910. 完成

神武天皇～後小松天皇 紀伝体 <sup>51</sup>南朝の正統性 <sup>52</sup>尊王思想

儒学者による史書多数 <例>『読史余論』『本朝通鑑』『中朝事実』など (→近世14)

古典

<sup>53</sup>北村<sup>きぎん</sup>季吟…俳人(貞門) 幕府<sup>54</sup>歌学方 『<sup>55</sup>源氏物語湖月抄』『枕草子<sup>しゅんしょう</sup>春 曙抄』

<sup>56</sup>戸田<sup>もすい</sup>茂睡…歌人 秘事口伝(古今伝授)を批判 和歌に対する言葉の禁忌を否定 『梨本集』

<sup>57</sup>\_\_\_\_\_…僧侶 茂睡説を証明 <sup>しもこうべ</sup>下河辺長流と交流(師事)

『<sup>58</sup>万葉代匠記』(光圀の依頼→長流に代わって完成 和歌の道徳的解釈を否定)

元禄文化 (2)

特色 (再) ① 上方の町人 中心 ←町人の台頭 ② 外国文化の影響少ない ←鎖国

③ 現実主義的 <例> 文芸—現世を「浮き世」として肯定 ※もと(中世)は「憂き世」  
儒学—政治との結び付き 古典研究・自然科学—合理的

<町人文芸> ☆出版の発展が背景に <例>八文字屋(京都)

俳諧 「俳諧連歌」から発展 ☆和歌や連歌では使わない俗語や漢語も使う ※江戸初期の貞門派から

4. 談林 派… 5. 西山宗因 より自由・奇抜な趣向 <例> 6. 矢数俳諧

7. 蕉風(正風)俳諧…さび・しおり・細み 繊細な感覚と言外の余韻を重視 8. 発句(第1句)の独立

☆ 9. 松尾芭蕉 : 伊賀の武士出身 新興商人・豪農とのつながり

『野ざらし紀行』(紀行:名古屋など) 『奥の細道』(東北・北陸)

『笈の小文』(関西) 『猿蓑』(句集) ※弟子に 14. 向井去来、森川許六、宝井其角ら

小説 15. 浮世草子…「浮き世」の世相・風俗 (<例> 16. 遊里) 現実・人間本能を直視

☆ 17. 井原西鶴 …大坂の商人出身 18. 談林派の俳人

19. 好色 物 『好色一代男』(浮世草子の創始), 『好色一代女』, 『好色五人女』

23. 町人物 『日本永代蔵』(成功話), 『世間胸算用』(大晦日の悲喜劇)

26. 武家物 『武道伝来記』(敵討), 『武家義理物語』 その他多数

演劇 29. 人形浄瑠璃…物語・三味線・操り人形の三者一体

(脚本) ☆ 30. 近松門左衛門 …京都の武士出身(牢人) 封建制下の義理と人情の葛藤

31. 世話 物 『曾根崎心中』 『心中天網島』 『冥途の飛脚』

35. 時代物 『国性爺合戦』(明の遺臣の子 鄭成功=和藤内の活躍)

(語り) 37. 竹本義太夫 …大坂出身 38. 義太夫節を創始 39. 竹本座の創設

(人形操り) 40. 辰松八郎兵衛

41. 歌舞伎 ※江戸初期… 42. 女 歌舞伎(遊女) → 43. 若衆 歌舞伎(美少年)…ともに禁止(売春)

→ 44. 野郎 歌舞伎…成人男性が演じる 内容・演技を重視

役者 (江戸) 45. 市川団十郎…荒事(武人など勇猛さを強調)

(上方) 46. 坂田藤十郎…和事(色男の優美さ) 47. 芳沢あやめ…女形

【正誤問題に挑戦】<センター1990本試験、1993追試験より>

X. 美少年が女役を演じる若衆歌舞伎が禁止されると、これに代わって女歌舞伎が盛んになった。

Y. 旅芸人は各地を巡業して、人形浄瑠璃や芝居を興行したが、元禄文化を代表する浄瑠璃脚本家の

井原西鶴は、竹本義太夫と結び多くの作品を残した。

## <歴史と古典>

歴史

『<sup>48</sup>大日本史』…<sup>49</sup>徳川光圀の命→江戸<sup>50</sup>彰考館で編纂開始 →1910. 完成

神武天皇～後小松天皇 紀伝体 <sup>51</sup>南朝の正統性 <sup>52</sup>尊王思想

儒学者による史書多数 <例>『読史余論』『本朝通鑑』『中朝事実』など (→近世14)

古典

<sup>53</sup>北村<sup>きぎん</sup>季吟…俳人(貞門) 幕府<sup>54</sup>歌学方 『<sup>55</sup>源氏物語湖月抄』『枕草子<sup>しゅんしょう</sup>春 曙抄』

<sup>56</sup>戸田<sup>もすい</sup>茂睡…歌人 秘事口伝(古今伝授)を批判 和歌に対する言葉の禁忌を否定 『梨本集』

<sup>57</sup>契<sup>けいちゅう</sup>沖…僧侶 茂睡説を証明 <sup>しもこうべ</sup>下河辺長流と交流(師事)

『<sup>58</sup>万葉代匠記』(光圀の依頼→長流に代わって完成 和歌の道徳的解釈を否定)